

令和 5 年度調布市文化財保護審議会（10 月～12 月分）について

第 5 回審議会

- 1 日時 令和 5 年 10 月 11 日（水） 午後 2 時～午後 4 時
- 2 場所 調布市文化会館たづくり 601・602 会議室
- 3 出席委員数 7 人
- 4 審議内容

(1) 「飛田給薬師堂境内行人塚」文化財説明板について

「飛田給薬師堂境内行人塚」（写真①）について、前回審議会で指摘された事項に対する調査報告を行いました。松前意仙の没年については、史料によって元禄 14 年（1701）と元禄 15 年の 2 つの記述がありますが、過去の調査報告や文献類を確認しても、どちらが正確かは判断できませんでした。本件については、更に調査を進めることになりました。

(2) 文化財説明版の付替えについて

今年度、付替え予定だった「飛田給薬師堂境内行人塚」の文化財説明版は、上記のとおり、今後も継続的な調査が必要となったため、説明版の付替えは来年度以降、調査が終了してからということになりました。代わりに今年度の付替え候補として、「布多天神社狛犬」の説明版を挙げたところ、複数の委員から文化財の指定区分が「民俗文化財」となっていることに疑問の声が上がりました。狛犬そのものを評価するなら指定区分は「彫刻」、狛犬と布田天神社の市との繋がりを重視するなら「歴史資料」が適切との意見があり、今後、指定区分の変更も念頭に、慎重に検討を進めることになりました。

(3) 「染地遺跡第 128 地点出土小銅鐸」の文化財指定について

今年度の市文化財指定候補である「染地遺跡第 128 地点出土小銅鐸」（写真②）について、指定理由説明書の素案の確認を行いました。委員からは、小銅鐸の文化財的価値や指定理由について明確にす

るよう指摘があり，次回以降の継続審議となりました。

第6回審議会

- 1 日時 令和5年11月28日（火） 午後2時～午後4時
- 2 場所 郷土博物館 会議室
- 3 出席委員数 5人
- 4 審議内容

(1) 文化財説明板の付替えについて

今年度の説明版付替え候補として，新たに「布多天神社本殿」の説明版を挙げました。委員からは，布多天神社自体についての記述を入れること，建物としての価値を明確にすることなどの指摘がありました。次回以降の継続審議となりました。

(2) 「染地遺跡第128地点出土小銅鐸」の文化財指定について

「染地遺跡第128地点出土小銅鐸」の指定理由説明書（案）について，前回審議会指摘された箇所を修正したうえで，再度文案の確認を行いました。委員からは，小銅鐸本体と共にその破片1点も指定対象に含めるべきとの意見がありました。また，指定理由については，都内で同じく文化財指定を受けた新宿区の小銅鐸の指定理由を確認し，文案に反映させるよう指摘がありました。引き続き，次回以降の継続審議となりました。

会議終了後，郷土博物館で開催されている企画展「発掘された染地遺跡展～多摩川低地のムラ～」の展示見学を行いました。



【写真① 飛田給薬師堂境内行人塚】



【写真② 染地遺跡第128地点出土小銅鐸】